



めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 [honkou-soudan@at-mhk.jp](http://honkou-soudan@at-mhk.jp) (メールはこちらにどうぞ)

明蓬館高校は 2009 年 4 月、閉校となった旧安宅小学校を活用して開校した広域通信制高校です。毎日通えるスクールコースもあります。インターネットをフルに活用し、定期テストではなく成果物で学習を評価、年4日間安宅の本校にてスクーリング（面接授業）を受ける学習システムです。

スペシャルニーズある限り地の果てまで動く

校長 日野 公三

たとえ障害があろうとも、入学したい生徒、自分なりに究めたい学習テーマとこれまでの蓄積を持つ生徒がいて、その隣に一生懸命に支えてきた保護者がいて、家族以外の支援者が何人かいる場合、われわれ教職員の熱き血が俄然沸騰します。

この時期は毎日、そんな事案が起こります。

あちこちを駆けずり回っています。

そんなことを繰り返しながら、明蓬館高校の存在価値が高まってきたと思えます。

見過ごされてきた、あるいは見落とされてきたニーズに向き合う姿勢に共感する方が多いという証拠です。

多くの方が石と思うものがわれわれにはきらきら輝く宝の山だと思えます。

行政がカバーしきれていないケース、学校が想定さえしていないケースもあり、悩みながらも前進しています。

物産館 DE・愛の大雪



町のふれあいバスも安宅の奥までは上がりません。皆勤賞候補の千里さんは雪にも負けず登校。

川崎町本校所属生徒 (3月現在)			
スクール	ネット	セルフ	合計
30名	41名	9名	80名

戸山神社の狛犬はsnowdogに。

安宅 本校の大雪

二宮金次郎さんも雪がかかって本も読めない。





校章のコンセプト

めいほうかんホームページの副校長ブログにて安宅本校の様子紹介中 [honkou-soudan@at-mhk.jp](mailto:honkou-soudan@at-mhk.jp) (メールはこちらにどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。そこから伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るい人間になってほしいという学校の願いを表現しています。

べっぴんさん

生徒達は年間かかって取り組んだ成果物、そしてパソコンでのレポートを終え、あとは単位認定を待つばかり。在校生たちは卒業生を送る会、卒業式の準備に取り組み始めました。送る会実行委員会もたくさんの想いを胸に準備を着々と進めているようです。

さて2月のバレンタインデーには1年生の女子生徒が生徒や先生たちにべっぴんを届けてくれました。ホワイトチョコのブタさんやハート。ラム酒やオレンジビターの大人向けチョコ。どれもべっぴんです。

今般の朝ドラはべっぴんさんというタイトル。べっぴんとは特別な想いを込めて作った品ということらしい。

私の方は、恒例の卒業生が胸につけるコサージュを手作りしています。あの子にはこの色が似あうかな?こちらかな?と想いを込めてひとつひとつ、べっぴんを仕上げています。卒業式まで秒読みです。

卒業式当日は関係者の皆様、心よりお待ち申し上げます。副校長 小賀友子

バレンタインデー



もちちゃん手造りのチョコレポートを皆に差し入れてです。



卒業式のコサージュ



造花を買ってきて花の部分のカットし、添の花と一緒に針金で巻き、テープで補強。安全ピンとリボンを巻いて、卒業生の胸につけるコサージュの出来上がり。

全国大会出場に向けての壮行会



福岡県大会、九州大会で優勝した「和太鼓たぎり」。そのリーダーを務める本校二年の植田晃太郎君。優勝曲「キリクサン」を壮行会にて熱演。又安宅の地で演奏してほしい。